

ワークショップ発表内容（1班～6班）

テーマ：公共施設ごとにどうあるべきか考えよう

○小・中学校

- ・ 私は小学校のPTAの会長を務めており、グループでは小中学校について「課題」「大事なこと」「将来に向けて」の3つを考えました。課題としては、校庭の広さ、通学路の安全性、セキュリティの確保が挙げられます。最近ニュースにもなりましたが、池田小の事件から20年経っており、こうした問題は、具体的には警備員さんの確保や外から敷地内に入れないようにすることが重要だと思います。
- ・ このような課題に対してどう取り組むかということも含めて、将来に向けてどうするかということですが、大きく分けて3点考えました。有馬小の例もありますが、1点目としては、小中連携です。小学校と中学校を統合してみるのもありかなと思います。2点目としては、地域と小中学校の連携も大事だと思います。せっかく地域にはコミュニティがいろいろあって、地域と連携することで子供の学びもあり、大人の方も子どもから力をもらうことができます。3点目としては、やはり小学校は家から近いところにつくりたいです。通学で長距離を歩くと子どもは疲れてしまい、ランドセルも重くて腰が痛くなってしまいます。家から近いところで、交通安全の確保をしっかりしたいと思います。
- ・ それらを踏まえて、一番大事なのは、子どもたちがトキメキをもって楽しく学べることだと思います。そのためのひとつとしては、楽しい給食が挙げられます。自分たちで野菜を育てて、それを食べるとなれば実感も持てます。
- ・ 小中学校は、課題は不登校支援ができました。行きづらい子ども学校の中に居場所を作れたらいいと思います。地域とのつながりでは、事例の美南小は地域とのつながりが強くあってよかったと思いましたが、不審者のことは課題だという話ができました。
- ・ 小・中学校は、基本的には残すべきだという考えです。人口増減などいろいろあり適正配置の必要性もわかるが、地域との絆とか小中学校にいろいろあるので、残していくべきだと考えています。通学が遠くなると交通安全の問題も出てくると思います。それならば、分校として残してはどうか、先生をどう確保するか財政力の問題はありますが、そういう意見ができました。
- ・ 将来に向けて、大人になって地元から離れて里帰りしたときに通っていた学校がなくなっていたり場所が変わっていたら思い出の場所がなくなってしまって、里帰りの気分がしないと思いました。児童が減っても学校は残してもらいたいなと思いました。
- ・ 小中学校の課題の話が多かったです。複合化することで大人がたくさん来ることでセキュリティが課題になる。
- ・ 地域ごとに課題も変わってくると思う。駅近くは教室が足りないし、南部は教室が余っている、課題が大きく変わってくるという話ができました。
- ・ 現状の学校施設は、校庭とかもっと活用できるのではないかと、という話もありました。
- ・ 統廃合することで通学距離が遠くなるなら、解消方法を考える必要がありそう。
- ・ 小中学校として大事な機能は、子どもたちの居場所として日中過ごす場であり、放課後としても子どもが過ごす居場所となると思います。
- ・ 生徒が減っているが、教える側としては少人数で目が届きやすいという意見もありました。
- ・ 見守り機能として、統廃合すると学童が遠くなる子が出てくる可能性があります。今は、塾などでお預かり機能がついているところも増えてきているので、放課後の居場所の形が時代とともに変化してきているという話も出ました。
- ・ 通学路の信号機の時間が短くて危ない、という話があって、毎年指摘されているが解消されていない例もあるので、

そういうところは通学路を変更したり地域の見守りが大事だという話ができました。

- ・ 課題として、1つのかたまりとして、児童数の減少、中心部の学校の過密化、離れているところは児童数が減っているという話がありました。
- ・ 地域との交流・コミュニケーションの減少、保護者も急がしくて学校に関われない、まわりの大人の関わり方、ということが課題としてありました。
- ・ 大事なことは、児童の安全の確保、セキュリティ、通学時の安全性の確保、が挙げられました。
- ・ 将来に向けて、40人学級は多すぎる、20人など少人数になったほうがいいのではという意見もありました。それもあって、統合もいいのではという話もありました。
- ・ 少ない教室の有効活用、福祉施設との複合などの意見もありました。
- ・ 学校と学童を一緒にすればいいのではという意見ができました。その利点として、年齢が近いので、子供同士の交流としたいということ、学校は避難所として利用されているので親も安心ではという意見ができました。
- ・ 安全性という点で、共通の動線となる廊下や階段をシャッターで閉める事例がありましたが、安全性は確保されるが交流は減ってしまうので、会員証をつくって特定の人が入れるようにすればいいのではという意見ができました。

○コミュニティセンター・文化センター

- ・ 課題としては、使いにくいです。使いやすくしてほしいです。使うにあたって、うるさく言われないようにしてほしいです。利用しやすい、予約しやすいのも大事だと思います。問題点の見える化ができると解決方法も考えやすいと思います。それと、存在意義の再確認、利用状況の把握などがありました。
- ・ 将来に向けて、地域のコミュニティの場として何かできたらいいと思います。
- ・ 大事なこととしては、存在し続けることだと思います。コミセンだけは、使用料なしでいきたいなと思います。
- ・ 課題として不要では？という意見がでた。なんだからって、利用者が偏っているという課題。同じ人が毎週同じ集まりで使っている実態があって、学生からみても無料で魅力的だが、予約しづらいなどの問題があるので、スマホで予約できるといいと思います。
- ・ コミセンについて知らない人が多いので、情報発信やアピールしていけばいろんな人が使える施設になると思います。
- ・ 意見が2つにわかれて、無駄だからやめたら、という意見と、残すべきだという意見がありました。
- ・ 特定の人しか使っていない、地域から離れていて使っていない。もし作るのであれば、もっと数多く、今の10倍くらい、使いやすい距離にないと使いにくいと考えました。
- ・ 特定の人しか使わないのならそれなら収益をあげてはという意見もありました。
- ・ ハードだけでなくソフト面についても充実していく必要あり、という意見もあった。それが存在意義ではないか。
- ・ 海老名市内には児童館がないので、コミセンも子供たちの居場所として開放されているが、こどもはWi-Fiがないからゲームできないということを言っていて、子どもたちが活用できる場になっているかという話になりました。
- ・ 有馬図書館・門沢橋コミセンの改修が非常によい例で、図書館も居場所として使いやすいし、子連れの人も授乳室とかが整備されていて行きやすいし、放課後も中庭で子供も過ごせるようになっていて使いやすいという意見ができました。
- ・ 両方の用途に当てはまることですが、統廃合して減らすときには、避難所・防災の拠点となる視点が大事なので、ただなくせばいいというものはないという意見が出ました。
- ・ 課題として、交通が不便、ちょっと離れているところであって利用には不便という意見です。情報量が足りないので、利用できない、利用したい時間に空いていない、夜間や土日など空いていないなどの話がありました。
- ・ 世代によって課題が違うというのもありましたが、それに対応することが必要だという話がありました。

- ・ 音楽スタジオが海老名市内になくて、バンド練習をしようとする町田や横浜に行っています。
- ・ 利用されていない、知らない、という話がありましたが、それ以前にコミセンはこうすることで利用されるものだという固定概念があって、運営者側と利用者側でギャップがあるのではという意見がありました。それならば、多様化するために体育館をつくって学生も部活で利用したり、行事で利用することもできるので、どう使えるか発信していくべきだという意見ができました。

○その他

- ・ 全体をみると、課題としては、青少年活動支援は海老名はあるのか？青少年会館はどうなったのかなと思っています。公共交通機関の確保、使いやすい・行きやすいという点では大事だと思います。
- ・ 将来に向けては、商業施設との統合、厚木のアミューなどを参考にしてはどうでしょうか。子供会のかわりになるものを考えるのはどうでしょうか。
- ・ 大事なこととして、駐車場は市民が使いやすくしてほしい、無料に戻してほしいです。アンケートについては懸賞付きで行うというアイデアができました。回収率もあがると思います。
- ・ 統合するときは、施設が遠くなる人が出てくるので、行きやすい公共交通の確保も必要だと思います。
- ・ 図書館の利用は、本の貸し借りではなく勉強利用が多いです。勉強、仕事、本の貸出など三者三様なので、本来の目的の利用者が利用できないかもしれないので、コミセンや統合施設などにもそういった機能があってもいいのではないかと思います。
- ・ 駐車場の有料化の是非については、反対派と賛成派が班の中にいました。今の税金の使い方について他の改善点もあるなかで、有料化されてしまうと疑問が出る、ということで、有料化するならば税金の使い方についてもっと考えてほしいと思いました。
- ・ 避難所としての公共施設は徒歩圏に残すべきだと思います。徒歩圏で行けるところであれば小中学校・コミセンでもなんでもいい。施設を統廃合したらどうなるか、考え方を明確にすべき。
- ・ 今後、土地の購入については定期借地権で確保してはどうか。50年という期間限定の作り方もあるのではないかと思います。50年目に返すことが前提で物事が進むので、WGの話などもなくなる。そういう前提の作り方が必要ではないかと思います。
- ・ いくら再編しても、えびなの自然は残してほしいという意見でした。
- ・ コミセンや文化センターは使っていない人も多く、施設の維持費もかかるので、学校なら空いている教室があるのでそこを利用できたらいいのではと思いました。ただ、危険な人もいるから、防火シャッターなどで時間で使えるようにしたらいいのではないかと思います。
- ・ 駐車場の有料化なども課題としてあがりました。
- ・ 大事なこととしては、一つの施設でいろいろできるようにしたい、市民へのアピールという話がありました。情報量が少ないことが原因として挙がっています。
- ・ コミセンが無料なのは海老名市の魅力として挙がっていました。
- ・ いいところは調理室はありがたいという話もありました。
- ・ 将来に向けて、使用制限の緩和、幅広い用途で活用したい。利便性をあげてほしいというコメントがありました。
- ・ その他にも、海老名市には花火ができる場所がない、という話がありました。
- ・ 学校の校庭を団体が利用しているときの喫煙マナーや公園で子どもが遊んでいたら子どもをどかした大人がいた、といった問題があったそうです。
- ・ トイレの衛生管理の問題も挙がっています。

- ・ 海老名市の図書館は利用しやすいという話もありました。今後はボランティア活用も必要になってくると思いました。
- ・ どの場所につくるかが一番大事、という話で、多様化を目指すのであれば、坂道の上だと高齢者も利用しづらく利用が制限される。子育て世代向けに支援センターがわかりにくい場所にあるということで、わからないところがあると利用されなくなってしまうので、どこに整備するかが大事なことだと思います。
- ・ こういうことも発信して、他の県にも知れたら、市も活性化できると思います。